

令和8年度 アクションプラン

令和8年度 若栗小学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	確かな学力の育成 (知)
重点課題	本に親しもうとする態度の向上
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は、本に親しむ時間を増やすことで、いろいろな本に出会う機会を設けてきた。また、「家族読書」や「おすすめの本カード」に取り組むことで、家庭と連携して読書を推進したり、自分の好きな本について考えたりする場を工夫してきた。しかし、一冊を「読み続けたい」「好きな本が見つかった」という思いに高めることができなかった。そのため、今年度は、一人でじっくりと本に親しめる時間を確保するとともに友達や先生と本について語る機会を設定し、語彙力や思考力、想像力の高まり、そして人間関係の土台となるコミュニケーション力の向上を目指したい。</li> </ul>
達成目標	「本との関わり (何度も読みたい本、大切にしたい本、好きな本を見つける)」について自己評価し、「できた」と評価した児童が、80%以上になることを目指す。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝活動やもくもくタイムで、読み聞かせやブックトーク等を設定することで、コミュニケーションを取りながら本の楽しさに気付く体験を増やす。また国語科の学習と関連付けて、いろいろな本に触れることができる機会をもつようにする。</li> <li>・本を読む時間を十分に確保するために、休み時間だけでなく、火曜日と木曜日のもくもくタイムに2学年ずつで図書室を利用し、本に親しむ時間を増やす。</li> <li>・校内読書週間で、「おすすめの本カード」や「家族読書カード」に取り組むことで、読書意欲を高める一助とする。</li> <li>・自分の読書の振り返りとして、目標冊数を決めて「ほんともファイル」を記入し、学期ごとに目当ての達成度を評価しながら読書の幅を広げていく。</li> </ul>
外部評価	学校運営協議会
公開の方法	学校 (学年) だより、ホームページ、学年懇談会

令和8年度 若栗小学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	健やかな体の育成 (体)
重点課題	基本的な生活習慣における自己管理能力の向上
現 状	<p>昨年度は、毎週月曜日に「健康生活調べ」を実施し、基本的な生活習慣の大切さやメディアとの適切な関わり方について、児童の意識向上を図ることで生活習慣の改善が見られた。一方で、メディアコントロールの達成率は他の項目と比較して低く、家庭での取組の曖昧さや児童の意識に課題が残る。そこで今年度は、家庭で決めたメディア視聴の約束の達成状況について自己評価し、メディアとの関わりについて子供たち自身がより意識して取り組むことができるようにしていきたい。</p>
達成目標	「メディアコントロールデー」の取組を通して、家庭で決めたメディア視聴の約束を守り、適切にコントロールできたと自己評価する児童の割合を80%以上にする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭において、毎週金・土・日のいずれか1日を「メディアコントロールデー」として設定し、家族で視聴の約束を決める。児童と保護者が共に評価を行い、学期ごとに振り返りを行うことで、約束 (自己目標) の見直しを図る。</li> <li>・学級活動や保健指導と関連付けながら、メディアコントロールの重要性を継続的に指導し、児童の意識向上を図る。また、「とやまゲンキッズ作戦カード」等を活用して実態を把握する。</li> <li>・保健委員会を中心に、掲示や呼びかけを行い、取組を可視化することで、学校全体で意識を高める。</li> <li>・学期末には振り返りの時間を設定し、家庭と連携して生活を見直す機会を設ける。</li> <li>・生活習慣についての情報を各種たよりや学級懇談会で共有し、児童の発達段階に応じて家庭の理解と協力を得る。</li> </ul>
外部評価	学校運営協議会
公開の方法	学校 (学年) だより、ホームページ、学年懇談会

令和8年度 若栗小学校アクションプラン - 3 -

重点項目	豊かな心の育成（徳）
重点課題	あいさつなどの「ぽかぽか言葉」を重点とした「4A運動」の推進
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、児童玄関前での「あいさつりレー」の実施や挨拶のポイント（場所や時間）を具体的に示し、気持ちのよい挨拶を校内に響かせる取組を継続することができた。また、相手を温かい気持ちにする「ぽかぽか言葉」を使う取組では、挨拶の他に相手を思いやる言葉、励ます言葉を交わし合う「ぽかぽかりレー」等のレクリエーションを行うことで、あたたかな言葉と気持ちを子供たちの間で伝え合うことができた。そこで、今年度は、普段の生活でも「ぽかぽか言葉」を進んで使い、温かい人間関係を築いていく取組を考え、実施していきたい。</li> </ul>
達成目標	「4A運動」の「あいさつなどのぽかぽか言葉を進んで使う」について自己評価し、「できた」と自己評価した児童が80%以上を維持することを目指す。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに、「ぽかぽか言葉とはどんな言葉か」について学級で話し合った後、代表委員会で内容をまとめ、「ぽかぽか言葉」を進んで使って、温かい気持ちを広げていこうとする意識をもたせるようにする。</li> <li>・「4A運動」強調週間には「挨拶などのぽかぽか言葉を進んで使う」について、自分の目標を設定することで意欲的に取り組めるよう支援する。</li> <li>・計画委員会が中心となり、「ぽかぽか言葉」の取組（全校や学級のレクリエーション）を継続し、楽しみながらぽかぽか言葉を使うよさを味わえるようにする。</li> </ul>
外部評価	学校運営協議会
公開の方法	学校（学年）だより、ホームページ、学年懇談会